

暮らした 森林の 共生



カシガエルの像がある三朝町森谷橋に立つ御船さん（右）と堀倉さん（左）の後ろの川の中に群れ泳ぐたくさんの魚影を見つけると二人から歓声が上がる

森が守る カジカの声

宮沢賢治の花巻農学校時代の親友で早逝の俳人、河本緑石を父に持つ御船道子さん（左）が、倉吉から三朝温泉の「木屋旅館」に嫁いだのは一九四九（昭和二十四）年、十九歳だった。

外地から引揚者が続き、まだ戦争のつめ跡が残る時代。「宿泊客は少なく、食べるのが精いっぱいでした。料理を出せるのはコメ持参の客のみ、山を開墾してイモも育てましたよ。調理師免許を取り、がむしゃらに働く毎日が続いた。

ある初夏の夕暮れ、疲れて調理場の裏でひと休みしていると、「ヒュルル、ホロホロ」という澄んだ声が三徳川から聞こえてきた。「鳥かな」。不思議に心が落ち着いた。しばらくして、姿の見えない

い声の主はカジカガエルであることが分かった。戦前は水盤の付いた「カジカかこ」が温泉街の土産物屋で売られ、その声をよむ粋な風習があったことも知った。

カジカガエルに心を慰められた御船さんは、温泉街で働く目の不自由なマッサージ師の人たちにカジカの声を楽しんでもらおうかと思いついた。仕事を終え、みんなが集まったのは夜中の十二時。二人の女性「カジカは命の恩人なんです」とつぶやいた。米

三徳川に向けられるようになった。九六年には同町で「かじか蛙サミット」を開き、自然保護や環境問題を学んだ。川の源流を訪ねてみると、ブナやコナラなど水源かん養能力の高い広葉樹林がはびかり切れ、鉄砲水の起きやすい危険な山になっていた。

「カジカのすむ清流を未来に伝えるには、源流の森を守らなければ」。御船さんたちの新しい活動が始まった。

「三朝温泉かじか蛙保存研究会」は、源流域で毎年三百本の植樹を開始。活動も十二年目を超えた。その一方でカジカを急流や水害から守り、繁

殖の場を確保するため、スキの間伐材を井形に組んだ「うるし」を、会員や温泉旅館組合、ボランティアの町民、子どもたち総出で川床に設置してきた。

「自然を愛し、畏敬（いけい）の念を忘れなかつた父や宮沢賢治。その気持ちが分かるような気がします」。毎年九月の賢治の命日には岩手県花巻市を訪ねるといふ御船さんは、笑顔を浮かべた。

女将として忙しい御船さんを補佐するのは、生まれも育ちも大阪の塩谷俊樹さん（右）。郵便局長として三朝町にやって来た。「会長（御船）さんの熱意に引っぱられて。カジカが鳴き、ホタルが舞う町。ここにずっと暮らしたい」。二十九日に迫った今年の植樹に向けて、二人とも準備に忙しい。



「かじか蛙保存研究会」が毎年、三徳川の源流域で行っている植樹。水を保つ広葉樹を植える（昨年の模様）＝同研究会提供

山陰の間伐材を利用した紙容器入り
ドリンクプレゼント

連載しています特集・広告に関するご意見を郵便またはFAXで募集しています。抽選で20名様に「間伐材を利用した紙容器入りの飲料」（提供 ホッココーポレーション/250ml入り・24本）をプレゼントします。

ご意見をお送りいただく際にお名前、郵便番号、ご住所をご記入ください。締め切りは11月30日消印有効。なお、当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。

ご記入いただいた個人情報はプレゼントの発送のみに使用させていただきます。

〒690-0062 松江市魚町10
山陰合同銀行地域振興部内
「森林を守ろう！山陰ネットワーク会議」プレゼント係
TEL 0852-55-1820
FAX 0852-28-0495

企画・編集 新日本海新聞社企画開発部
山陰両県の森林保全などに取り組むNPOなどが参加して「森林を守ろう！山陰ネットワーク会議」が設立されました。新日本海新聞社は活動の趣旨に賛同して同ネットワーク会議などの協力で森林保全の輪を広げる企画を来年3月まで随時掲載します。

森林保全活動レポート
その⑬



「みんなで楽しい森づくり」が モットーです。

豊かな緑を子どもたちの未来へ！ 森林を守ろう！山陰ネットワーク会議

山陰の森林に関する活動を展開しているNPO法人やボランティア団体を中心にネットワークを構築し、森林保全の輪を広げる活動を展開します。

島根県出雲市にある鼻高山（はなたかせん）の中腹。霧におおわれた宍道湖が朝日を浴びて徐々にその姿をあらわす頃、出雲市林業振興協議会の皆さんは、テキパキと草刈りを始めました。「森に関心をもつメンバーが長年やっていますから、楽しいもんですよ。特にここは、出雲市の高浜小や第三中の生徒が植林したところだから、作業にも力が入ります。」会長の寺本節裕さんをはじめとするメンバーの方々は、あふれる笑顔でこたえてくれました。



今年6月の定例会では、植林したての広葉樹の芽を食べる野生鹿の実態を視察しました。

今後の活動予定（参加は自由です）
11月3日（金）出雲市所原町の朝山コミュニティセンターで、所原町内の森林所有者を対象に経営説明会を実施。無料で「所有林の健康診断」も行います。

今回の森林保全活動レポートその⑬に登場する

出雲市林業振興協議会
1983（昭和58）年に設立。地元林業家や森林所有者を中心に、地元出雲地区の枝打ち、間伐などの作業のほか、長年の活動で培われたネットワークやノウハウを駆使して、県内各地の植林活動のサポートや、クヌギの直播き実験、間伐材の染色実験など、幅広い活動を行っています。

連絡先は、出雲市知井宮町75-2 伊藤さん迄
TEL&FAX 0853-22-1849

- 森林を守ろう！山陰ネットワーク会議 参加団体のみなさん** (9月20日現在)
- 鳥取県 NPO法人 賀露 おやじの会（鳥取市） NPO法人 サカズキネット（倉吉市） NPO法人 とっとり希望化計画21（鳥取市） 広葉樹文化協会（鳥取市） 財団法人 南部町地域振興会（南部町） 杉の響・吟醸の会（智頭町） 大山横手道上ブナを育成する会（米子市） 鳥取県木造住宅推進協議会西部支部（米子市） 鳥取市女性の森グループ（鳥取市） トリネット（米子市）
 - 日野川の源流と流域を守る会（日野町） 丸山生産森林組合（伯耆町） 三朝温泉かじか蛙保存研究会（三朝町） 森っ子倶楽部（鳥取市）
 - 島根県 出雲市林業振興協議会（出雲市） NPO法人 緑と水の連絡会議（大田市） NPO法人 もりふれ倶楽部（松江市） 源流の森里山づくり（邑南町） 財団法人 島根県西部山村振興財団（浜田市） 里山を育てる会（松江市）
 - しまねフォレスト・ネットワーク出雲（出雲市） 薪ストーブ同好会（松江市） 松江ネイチャーゲームの会（松江市） 木質バイオマスエネルギー地産地消ネットワーク（松江市） 森の仲間（出雲市） 遊木民倶楽部（益田市）
 - 特別協賛 新日本海新聞社 山陰中央新報社 特別協力 凸版印刷株式会社
- この広告に関するお問い合わせは事務局まで
- 山陰合同銀行 地域振興部内 島根県松江市魚町10 〒690-0062 TEL.0852-55-1820
- みんなで森を守ろう！